

## 別府大学短期大学部 幼児・児童教育研究センター公開講座

日時：令和5年7月29日（土）  
会場：別府大学37号館メディアホール  
（参加料無料）

《午前の部》9：30～「ICTを活用した授業実践&パネルディスカッション」

パネリスト	〈英語〉 大分市立明治北小学校	指導教諭	東 純子
	〈道徳〉 明星小学校	教諭	時 枝 智 美
	〈国語〉 横浜市緑園義務教育学校	教諭	池 田 真 洋
コーディネーター	別府大学短期大学部初等教育科	教授	古 川 元 視

### 【パネルディスカッション】（概要）

#### 議題1：タブレット使用の際のルール作り，ルール違反への対応等について

- ルール作り，ルールの徹底についての会議を行った。同じ中学校区内の小学校に「共通のルール」についての資料を配布した。（例：話し合いになったらタブレットを閉じる等）…東指導教諭
- ICT主任が研修を開き，学校全体で共通理解をする。クラスごとにルールが異なることがないようにする。…時枝教諭
- ルールの徹底，ルール違反への個別への対応は限界がある。学校・学年単位でルールを統一する。タブレットのON・OFF，開く・閉じる等の指示を明確に行うことが大切である。（教師が話すときはOFFにするというきまりを作っている）…池田教諭

#### 議題2：目的によってノート等に「書く」場合と「タブレットを使用する」場合とを区別することについて

- 外国語には思考ツールはすぐわないと考える。マッピングを使用している。…東指導教諭
- 自分で勉強させたい時はワークシートやノートを使用している。タブレットは共有する時にこそ効果がある。…時枝教諭
- 共有したい時にタブレットを使用している。…池田教諭

#### 議題3：思考ツールについて

- 無理強いはしていない。個別最適化という観点から使う子どもも使わない子どももいていいのではないかと考える。思考ツールも子どもが選択できるようにしている。…池田教諭
- 熊手チャートは書く欄が6個あるため子どもも何とか埋めようとする。表は子どもが作成する。思考ツールは加工がしにくいところがデメリットである。…時枝教諭



- 外国語では使っていない。…東指導教諭

#### 議題4：図書の本の利用や図書館司書との連携について

- 図書館司書と会議をもつ時間がなかなか取れないため、付箋でメッセージを残すようにしている。(調べ学習をしたい内容等)
- 子どもには調べ学習の図書利用とタブレット使用における信頼性の違いを伝えておく。タブレットを使用して調べ学習をする際には、事前に信頼できるサイトを示すようにしているとともに、書籍は信頼できることを伝えている。これらを伝えた上で、どちらも使わせ、自分の考えを構築させていくことが大切である。同時にインターネットの情報の危うさを伝えていくことも必要である。…池田教諭

#### 議題5：タブレットで薄緑の字の使用について

##### 演習を録画したものの評価について

- 薄緑色の字を使用していたのは、黒板の字の色と連動しているからである。
- 演習画像の評価は、授業内では難しいため放課後に行っている。…東指導教諭

#### 議題6：児童のタブレット使用における能力の個人差について

- まずは学校全体で共通理解を行い、タブレット使用におけるスキルの構築は学年ごとに目標を設定して積み重ねていく。その上で、個別対応をしていく。…時枝教諭

#### 〈最後にひと言〉

- タブレット使用は、まずはやってみることが大切である。失敗したら修正して違う方法を考えていく。…東指導教諭
- 道徳の授業を楽しんで取り組んで欲しい。…時枝教諭
- 図書の良さ、ICT機器の良さを事前に理解しておくことが大切である。…池田教諭



### 《午後の部》13：30～ 講演 「子どもの心を育む絵本の世界」

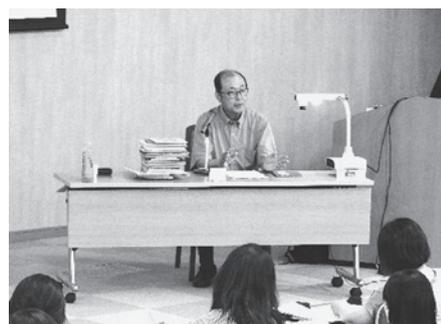
講師 絵本・児童書専門店「緑のゆび」 店主 吉井康文氏  
〔吉井康文氏のプロフィール〕

絵本出版社「こぐま社」の前社長。絵本と児童書の専門店を吉祥寺中道通りに2022年1月5日オープン【hp：midorinoyubibook.com】

#### 1. 講演の概要

##### 「絵本にしかできないこと」

数年前に漸くWHOが、ネットやゲーム依存は障害であり「疾病」であると位置づけた。依存症が子どもに広まるなど、子どもたちの置かれている環境は厳しいものになってきている。50年後の未来に対する責任が私たち大人にあるのではないかと、そこに絵本が果たす役割、「絵本にしかできないこと」



があるのではないか。

まず、絵本の読み聞かせで大事なポイントは、コミュニケーションと同じで「スキンシップ・アイコンタクト・肉声」であり、子どもに触れながら、目と目を合わせつつ、「人格をもったことば」としての肉声で読んであげることが重要である。

また絵本は、「絵という文字」の助けを借りて作られたものなので、読んでもらうことが大事。物語を耳で聞き「絵という文字」を読む。それが「絵本にしかできないこと」。

絵本で大切なことは、お話を絵で物語ること。例えば『かしこいビル』（ウィリアム・ニコルソン）のように、「次はどうなるのか」とページをめくりたくなるように作られている。絵本は背表紙も大事。『いたずらきかんしゃちゅうちゅう』（バージニア・リー・バートン）は、表紙・背表紙・裏表紙が一枚絵になっている。同じくバートンの『はたらきもののじよせつしゃけいてー』では、子どもは大人が見逃しがちな扉絵や挿画の周囲に描かれた絵を読んでいる。大人は文字を追うが、子どもは絵を読んでいるのである。

子どもは、絵を読んで絵本の世界に自由に入り込み、主人公や主人公の友だちになって同じ体験をする。その時心も動いて成長している。子どもは想像力、創造力、記憶力などを駆使して読んでいる。字が読めるとその力は消えていく。字が読めることと本が読めることは違うこと。文字が読めるようになっても絵本を読んであげて欲しい。また子どもは「行って帰るお話」(行きて帰りし物語)が大好き。子どもにとって、帰ってきたところが一番安心できる場所だから。長く読み継がれてきた絵本にはそのような要素がある。

『クシュラの奇跡』（ドロシー・バトラー著）という本がある。染色体異常で生まれてきたドロシーの孫クシュラ。彼女の3か月から4歳までの成長記録。泣き叫ぶことしかできなかったクシュラに、両親は抱きしめることと、絵本を読み聞かせることしかできなかった。しかし絵本に興味を示し、3歳頃には健常児を超える能力を備えるに至った。この奇跡は、どの子にも起こりうること。絵本が地球を救うことにもなるのではないか。

## 2. 受講者の感想（抜粋）

- ・絵本最大の魅力の「絵」、正直見失いがちでした。子どもの活字離れが心配でたくさん読ませようとしていました。今日の話聞いて、自分も絵を見て本を読むのが好きだったなと思い出しました。絵の細かい所まで読んでさがすことに喜びを感じていたからこそ、楽しかったんだと思いました。読み聞かせは小学校でもするので、自分も実際に、最後まで細部まで読んでから、読み聞かせと一緒に楽しもうと思いました。
- ・絵本の世界を私自身も楽しむことができました。読み聞かせをする中で、「スキンシップ・アイコンタクト・肉声」など、絵本の世界で育つ子どもの力を伝えていきたいです。同僚の職員にも、絵本がもつ力を伝えていきたいと思います。
- ・「絵を読む」という部分が心に残りました。私は小学校の教員で、もう子ども達も字が読めてしまう発達段階の子との関わりが多いですが、文字からの情報だけでなく、絵からも読み取れるのだという部分を一緒に楽しみたいです。
- ・IT化が続いている中で、改めて絵本の大切さに気がつくことができました。字が読めるようになり、自分で読む楽しさを味わうことが大切だと思っていましたが、まずは耳で聞く、絵を読む、絵を楽しむことが大切だと聞き、日々の保育でも読み聞かせをたくさんしていこうと思いました。
- ・「読み継がれた絵本には力がある」という言葉が印象的でした。
- ・子どもたちは“耳で物語を聞き、絵という物語を読む”というお話を聞き、私は絵本が大好きですが、やはり字を追うことに意識がいき、絵を読むことを重視していなかったのではないかと思います。様々な絵本を紹介していただく中で、子どもたちが何に興味をもち楽しんで聞くのかを教えていた

だき、私も子どものように絵本の世界を楽しみました。今度は、実践の中で、自分もそんな読み聞かせができるようになろうと思います。これからの絵本の選び方が変わる気がします。

- ・文字を読める私達にとって「絵」を読むことの大切さを改めて感じ、知ることができました。乳幼児期に関われる私達は、この大切な時期を共に過ごす喜びとして、絵本の面白さ、楽しさをたくさん伝えたいと思います。
- ・興味深く面白かったです。知らない絵本もあり、絵本の奥の深さを感じました。保育園に勤めているのですが、人格をもった言葉、肉声で、子どもたちに絵本を読み続けていこうと思いました。もう一度ゆっくりと絵を読みながら、絵本を自身でも楽しもうと思いました。
- ・絵本がここまで素晴らしい救済のツールとなっていることを知りませんでした。絵本作家の方の心の世界が人間を救い、平和につながると感じました。
- ・先生のご講演をうかがえて、久しぶりに子どもに戻って絵本を読み聞かせていただいて幸せな気持ちになりました。絵を読んで楽しく字が読めるようになり、読み聞かせをする中で、子ども達にもっと絵を読ませていたかなと振り返る事ができ、これからの自分の読み聞かせに活かしていきたいと思います。
- ・初めて知る絵本ばかりで、バックストーリーまで知ることができ、とても実のある時間でした。子どもたちは大人よりも絵から得る力や読み取る力が大きく、読み聞かせ中の子どもの反応を大切にしたいと改めて思いました。また、シンプルなストーリーや絵でも、だからこそその面白さがあり、ぜひ「読みたい」と思う気持ちが高まりました。絵本を通して心を育てていけるように、もっと勉強していきたいと思います。
- ・絵本の魅力や、子どもの想像力を引き出す力がよくわかりました。先生と一緒に絵本を読むことで「ケイティー」や「かしこいビル」や「げんきなマドレーヌ」の余白の部分遊びの部分を知ることができました。子どもは、そういうものを無条件に楽しめる時期で、その時期を大切にしたいと思いました。余白や絵を楽しむ本がもっと増えるといいと思います。
- ・絵本のもつ力、魅力を改めて感じる事ができ、とても勉強になり楽しい時間でした。知っている絵本にもこんな秘密があったなんて・・・、と発見も多く、とてもおもしろく、子ども目線でまたいろんな本を見てみたい・・・という気持ちになれました。
- ・今まで気に留めなかった絵本の細かなところの面白さ、子どもたちの目線で楽しさを感じることができました。絵本読みをただするだけでなく、子どもたちへの大事な役割に目を向け、心を込めて行っていきたいと思います。
- ・長年絵本を作る現場にいらっしゃった先生のお話は、心動かされることばかりでした。学校図書館に勤務し、読み聞かせをしています。今日のお話を心にきざみ、これからも読み聞かせていこうと思いました。
- ・たくさんの絵本を紹介していただきながら貴重なお話をおうかがいすることができてとても良い勉強となりました。絵本は「心とことばを育てる」というお言葉、すてきですね。図書館員として伝えていきたいです。絵本の力を改めて感じ考えさせられました。吉井先生の講演がまたあれば来たいです。